

8:06受し

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第20379報)

2019年10月20日 8時00分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第20377報でお知らせした、5号機屋外西側トレンチ内における漏えい検知器の作動について、その後の状況をお知らせします。</p> <p>流入水の分析の結果、いずれも検出限界値未満であることを確認しました。</p> <p>このため、漏えい検知器の作動は雨水によるものと判断しました。</p> <p>【公表区分: その他】</p> <p>漏えい事象ではないことを確認したことから、公表区分を「C」から「その他」に変更しました。</p> <p>今後、流入箇所の閉止処置を行います。</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

15:02 受

1/9

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第20380報)

2019年10月20日 14時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [10月20日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 10月19日] ・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 10月19日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水 [採取日 10月16日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 10月18、19日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクL、A、Bの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、A、Bについては10月21日に、Lについては10月22日に排水を実施します。</p> <p>排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果 [採取日 10月15、16日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

3/9

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2019年10月20日 11:00現在

【留意事項】
各計測器については、地震やその後の事故進展の影響を受け、通常の使用環境条件を超えているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。プラントの状態を把握するために、このような計測器の不確かさも考慮したうえで、当該の計測器から得られる情報を活用して変化の傾向に留意目して総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 1.6 m ³ /h ※6 CS系: 0.0 m ³ /h ※6 (10/20 11:00 現在)	給水系: 2.0 m ³ /h ※6 CS系: 2.5 m ³ /h ※6 (10/20 11:00 現在)	給水系: 2.0 m ³ /h ※6 CS系: 2.5 m ³ /h ※6 (10/20 11:00 現在)	給水系: 2.0 m ³ /h ※6 CS系: 2.5 m ³ /h ※6 (10/20 11:00 現在)
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 26.3 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 26.2 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 26.2 °C (10/20 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 28.9 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 26.4 °C (10/20 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 28.8 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 27.9 °C (10/20 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 28.8 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 27.9 °C (10/20 11:00 現在)
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 26.5 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 26.2 °C (10/20 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 30.3 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH-2-16B (TE-16-114G#1): 28.6 °C (10/20 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 29.3 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 27.4 °C (10/20 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 29.3 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 27.4 °C (10/20 11:00 現在)
原子炉格納容器 圧力	0.11 kPa g (10/20 11:00 現在)	1.90 kPa g (10/20 11:00 現在)	0.41 kPa g (10/20 11:00 現在)	0.41 kPa g (10/20 11:00 現在)
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH-A): 15.46 Nm ³ /h (RVH-B): - Nm ³ /h (JP-A): 14.00 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (10/20 11:00 現在)	RPV-A: 13.57 Nm ³ /h RPV-B: - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (10/20 11:00 現在)	RPV: 17.08 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (10/20 11:00 現在)	RPV: 17.08 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (10/20 11:00 現在)
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	20.1 m ³ /h (10/20 11:00 現在)	16.73 Nm ³ /h (10/20 11:00 現在)	21.50 Nm ³ /h (10/20 11:00 現在)	21.50 Nm ³ /h (10/20 11:00 現在)
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (10/20 11:00 現在)	A系: 0.05 vol% B系: 0.04 vol% (10/20 11:00 現在)	A系: 0.15 vol% B系: 0.14 vol% (10/20 11:00 現在)	A系: 0.15 vol% B系: 0.14 vol% (10/20 11:00 現在)
原子炉格納容器 放射能濃度 Xe135) ※2	A系: 指示値 1.10E-03 Ba/cm ³ 検出限界値 4.10E-04 B系: 指示値 1.28E-03 Ba/cm ³ 検出限界値 3.70E-04 (10/20 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.5E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 1.4E-01 Ba/cm ³ (10/20 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 2.2E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 2.2E-01 Ba/cm ³ (10/20 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 2.2E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 2.2E-01 Ba/cm ³ (10/20 11:00 現在)
使用済燃料プール 水温度	26.3 °C (10/20 11:00 現在)	26.7 °C (10/20 11:00 現在)	25.7 °C (10/20 11:00 現在)	25.7 °C (10/20 11:00 現在)
FPC 排水タンク 水位	3.60 m (10/20 11:00 現在)	4.00 m (10/20 11:00 現在)	3.08 m (10/20 11:00 現在)	66.9 X100mm (10/20 11:00 現在)

【計測器に関する情報】
※1: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と認識する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測精度によりマイナス表示される場合があるため)
原子炉格納容器ガス管理システムの水素濃度値を認識する。
※2: 指示値が検出限界値未満の場合はNDと認識する。原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度 (Xe135) を認識する。
※3: 使用状態の温度・圧力で異常値を正しく認識する。

※4: 異常値入力停止中
※5: 4号機原子炉格納容器プール冷却系一次系ポンプ停止中
※6: 作業に伴い、原子炉注水流量計変更中

3/9

2019年10月20日

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

I-131(Bq/L)

Table with 20 columns (9/29 to 10/19) and 9 rows of data for I-131 measurements. Values are mostly ND (Not Detected) with some numerical values in parentheses.

Cs-134(Bq/L)

Table with 20 columns (9/29 to 10/19) and 9 rows of data for Cs-134 measurements. Values are mostly ND (Not Detected) with some numerical values in parentheses.

Cs-137(Bq/L)

Table with 20 columns (9/29 to 10/19) and 9 rows of data for Cs-137 measurements. Values are mostly ND (Not Detected) with some numerical values in parentheses.

<測定箇所>

- ①4号7月建設廃棄物
②プロセス主建屋北東
③プロセス主建屋南東
④プロセス主建屋南西
⑤焼固体系廃棄物減容処理建屋南
⑥サイトバンカ建設南西
⑦焼固体系廃棄物減容処理建屋南
⑧焼固体系廃棄物減容処理建屋北

※I-131はサンプリング測定を実施していないことを示す。
※⑧は⑥が採取不可となったため、地下水流の上流側として選定し、選1回程度の頻度で測定(2011/4/29~)
※⑦は地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/26~)

※⑧は追加で測定(2011/8/2~)
※⑧は焼固体系廃棄物減容処理を完了し、()内に検出限界値を示す。
※1 懸念により採取中止
※2 建屋の影響により上昇したと考えられる。
※3 水位計取付のため採取中止

4/9

2019年10月20日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

	A排水路		物揚場排水路	
	10月18日	10月19日	10月18日	10月19日
採取日	10月18日	10月19日	10月18日	10月19日
採取時刻	7:50	7:45	7:55	7:50
降雨量(mm/日)	0	57	0	57
流量(m ³ /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134(約2年)	ND(0.66)	ND(0.54)	ND(0.76)	ND(0.75)
Cs-137(約30年)	12	3.9	4.3	18
全β	17	8.6	6.5	20
H-3(約12年)	-	-	-	-

単位: Bq/L

	K排水路		BC排水路	
	10月18日	10月19日	10月18日	10月19日
採取日	10月18日	10月19日	10月18日	10月19日
採取時刻	6:00	6:00	6:55	6:00
降雨量(mm/日)	0	57	0	57
流量(m ³ /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134(約2年)	1.2	4.8	ND(0.60)	ND(0.54)
Cs-137(約30年)	28	89	ND(0.88)	ND(0.76)
全β	35	120*	7.8	5.6
H-3(約12年)	-	-	-	-

* 太枠内が今回公表データ。他は10月19日までにお知らせ済み。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

※ 降雨の影響により上昇したと考えられる。

2019年10月20日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(1/2)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	単位: Bq/L (塩素除く)																
	No.0-1	No.0-1-2	No.0-2	No.0-3-1	No.0-3-2	No.0-4	No.1	No.1-6	No.1-8	No.1-9(注)	No.1-11	No.1-12	No.1-14	No.1-16	No.1-17	12号機 ウェルポイント 変更上げ水	23号機 改修ウェル 変更上げ水
採取時刻																	
塩素(単位: ppm)																	
Cs-134(約2年)																	
Cs-137(約30年)																	
その他																	
γ																	
全β																	
H-3(約12年)																	
Sr-90(約29年)																	
採取日	10月16日																
採取時刻	7:56																
塩素(単位: ppm)	500																
Cs-134(約2年)	ND(0.40)																
Cs-137(約30年)	1.1																
その他																	
γ																	
全β	360																
H-3(約12年)	840																
Sr-90(約29年)	-																

* 太枠内が今回公表データ。他は10月17日にお知らせ済み。
 * NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き()内に検出限界値を示す。
 * 測定対象外の項目は「-」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値として過後に測定。

6/9

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(2/2)海水

単位: Bq/L

	福島第一 5.6号機 放水口北側 (T-1)	福島第一 6号機 取水口前	福島第一 物揚場前	福島第一 1~4号機 取水口内北側 (東京線北側)	福島第一 1~4号機 取水口内南側 (遮水壁前)	福島第一 南放水口 付近 (T-2)	福島第一 港湾口 東側	福島第一 南放水口 付近 (T-2)	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日		
採取時刻	8:05	8:15	7:40	7:25	7:30	7:00	6:55	6:53		
Cs-134 (約2年)	ND(0.62)	ND(0.47)	ND(0.40)	0.66	1.9	ND(0.65)	ND(0.48)	ND(0.29)	60	10
Cs-137 (約30年)	ND(0.58)	ND(0.52)	2.1	12	28	ND(0.80)	1.3	1.1	90	10
全β	—	ND(13)	ND(13)	22	40	9.4	ND(13)	ND(16)		
H-3 (約12年)	—	—	—	—	—	—	—	—	60,000	10,000
Sr-90 (約29年)	—	—	—	—	—	—	—	—	30	10

単位: Bq/L

	福島第一 港湾内 西側	福島第一 港湾内 北側	福島第一 港湾内 南側	福島第一 港湾中央	福島第一 北防波堤 北側 (T-0-1)	福島第一 港湾口 北東側 (T-0-1A)	福島第一 港湾口 東側 (T-0-2)	福島第一 港湾口 南東側 (T-0-3A)	福島第一 南防波堤 南側 (T-0-3)	福島第一 南放水口 付近 (T-2) ^(注)	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月18日		
採取時刻	6:49	6:47	6:57	6:51	6:51	6:51	6:51	7:05	7:05	7:05		
Cs-134 (約2年)	ND(0.34)	ND(0.28)	ND(0.50)	ND(0.38)	ND(0.38)	ND(0.38)	ND(0.38)	ND(0.52)	ND(0.52)	ND(0.52)	60	10
Cs-137 (約30年)	ND(0.33)	0.45	1.7	0.54	0.54	0.54	0.54	ND(0.68)	ND(0.68)	ND(0.68)	90	10
全β	ND(16)	ND(16)	ND(16)	ND(13)	ND(13)	ND(13)	ND(13)	8.9	8.9	8.9		
H-3 (約12年)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60,000	10,000
Sr-90 (約29年)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	10

* 太枠内が今回公表データ。他は10月19日にお知らせ済み。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 測定対象外の項目は「—」と記す。

* 物揚場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。

(注) 地下水バイパス排水の翌採取した「南放水口付近海水」については、トリチウムの分析も行っている(2014年10月19日以降)。

※ 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第1第六欄:周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

7/9

2019年10月20日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果

単位: Bq/L

	一時貯水タンクL (サンプルタンクL)		運用目標	告示濃度※1 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
	東京電力	第三者機関			
採取日	2019年10月15日	2019年10月15日			
採取時刻	7:25	7:25			
貯水量 [m ³]	750	750			
セシウム134	ND(0.57)	ND(0.59)	1	60	10
セシウム137	ND(0.58)	ND(0.62)	1	90	10
その他 ガンマ核種	検出なし	検出なし	※2 検出されないこと		
全ベータ	ND(2.3)	ND(0.38)	3(1) (注)		
トリチウム	720	770	1,500	60,000	10,000

* 第三者機関: 東北緑化環境保全株式会社

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

(注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

8/9

2019年10月20日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果

単位: Bq/L

	一時貯水タンクA (サンプルタンクA)		運用目標	告示濃度※1 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
	東京電力	第三者機関			
採取日	2019年10月16日	2019年10月16日			
採取時刻	7:20	7:20			
貯水量 [m ³]	860	860			
セシウム134	ND(0.67)	ND(0.73)	1	60	10
セシウム137	ND(0.63)	ND(0.83)	1	90	10
その他 ガンマ核種	検出なし	検出なし	※2 検出されないこと		
全ベータ	ND(2.2)	0.51	3(1) ^(注)		
トリチウム	820	870	1,500	60,000	10,000

* 第三者機関: 東北緑化環境保全株式会社

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

(注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を1 Bq/Lに下げて実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

9/9

2019年10月20日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果

単位: Bq/L

採取日	一時貯水タンク B (サンプルタンク B)		適用目標	告示濃度 ※1 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
	東京電力	第三者機関			
採取日	2019年10月16日	2019年10月16日			
採取時刻	7:35	7:35			
貯水量 [m ³]	1,160	1,160			
セシウム134	ND(0.76)	ND(0.61)	1	60	10
セシウム137	ND(0.71)	ND(0.49)	1	90	10
その他ガンマ核種	検出なし	検出なし	※2 検出されないこと		
全ベータ	ND(0.78)	0.39	3(1) (注)		
トリチウム	560	600	1,500	60,000	10,000

* 第三者機関: 東北緑化環境保全株式会社
 * NDは検出限界値未満を示し、()内に検出限界値を示す。
 (注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて実施。
 ※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度 (別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度 [本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])
 ※2 セシウム134、セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと (天然核種を除く)。

15:02受

様式 9-1 (1/2)
(第20381報)

応急措置の概要 (原子炉施設)

2019年10月20日 14時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第8137報他でお知らせした、1号機放水路上流側立坑においてCs-137の濃度が上昇した事象、及び第10182報他でお知らせした、2号機放水路上流側立坑において全ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路立坑水の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。 ・福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果 [採取日 10月18日] 今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。 【公表区分：その他】
その他の事項の対応(注3)	なし ※添付の(有)・無

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/2

2019年10月20日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果

単位:Bq/L

	1号機放水路立坑水		2号機放水路立坑水	
	上流側	下流側	上流側	下流側
採取日	10月18日	10月18日	10月18日	10月18日
採取時刻	7:09	8:36	6:57	8:39
Cs-134(約2年)	760	57	140	ND(8.5)
Cs-137(約30年)	11,000*	800	2,000	80
全β	13,000*	2,200	2,800	170
H-3(約12年)	230	310	ND(110)	130

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

※ 降雨の影響により上昇したと考えられる。

15:02 後

✓

様式0-1(1/2)
(第20382報)

応急措置の概要 (原子炉施設)

2019年10月20日 14時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第20375報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクKに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。 ・排水開始 : 10時22分 ・排水終了 : 13時16分 ・排水量 : 430m ³ 排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。 【公表区分: E】
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。